

広告

11月8日は いい歯の日



栃木県歯科医師会PRキャラクター
「ピカちゃん」



日本歯科医師会PRキャラクター
栃木県ご当地「よ坊さん」

人生80年時代といわれるように、私たちは少子高齢社会に直面しており、この80年間の人生をいかに有意義に過ごすことができるかが重要な課題となっています。

歯や口腔(こうくう)の機能は、おいしく食べる、人と会話する、豊かな表情

を整えるなど、生きるための基本的な働きをつかさどっています。

栃木県歯科医師会では、県民の皆様の一人ひとりが、生きがいを持ち健康寿命を延伸できるかを考え、80歳になっても自分の歯を20本以上保つことを目的とした「8020(ハチマルニマル)運動」や「一口30回以上噛むこと」を目標とした「噛ミンク30(カミンクサンマル)」などの歯科保健活動を行ってまいりました。

健康寿命を延ばす歯科保健医療の推進

また、歯科保健活動をむし歯や歯周病の治療のみならず、様々な観点から推進するため、本年4月に「栃木県民の歯及び口腔の健康づくり推進条例」が施行となりました。条例には、歯及び口腔の健康づくりが、県民の生涯にわたる健康の保持増進に欠かせないものであると明記され、さらに、糖尿病、脳血管疾患、虚血性心疾患など生活習慣病の予防や改善にもつながるとされています。

「食」は命の源であり、「食」の入口となっているのが歯や口腔です。

栃木県歯科医師会は、県民の皆様が生涯にわたりQOL(生活の質)を向上し、心豊かで充実した人生を送ることができるよう、関係機関と連携を図り、県民歯科保健の向上に尽力してまいります。



栃木県歯科医師会会長

柴田 勝

(柴田歯科クリニック院長)

歯科医療は「生きる力を支える生活の医療」です。

日本歯科医師会 <http://www.jda.or.jp/> 栃木県歯科医師会 <http://tochigi-da.or.jp/>